

子どもたちの自学自習の習慣化、放課後の安心・安全な居場所としての役割を担ってきた「放課後まなび教室」。事業開始10年目を迎え、昼間留守家庭児童を対象とした「学童クラブ」を含む放課後事業の状況等について報告します。

地域の協力のもと全校で着実に推進！約1万2千人の児童が登録

「放課後まなび教室」は、平成19年度当初、小学校1～3年生を対象として、50校で開設されました。その後、実施校が順次拡大され、平成21年度から、対象学年を6年生まで拡大し、全ての小学校区で実施されています。

また、平成23年度から、校区内の総合支援学校に通う児童も対象にするとともに、平成24年度から、学校敷地内・隣接児童館における放課後まなび教室登録児童の児童館(自由来館機能)への直接利用の取組を開始しました。

平成27年度末現在、全児童の約2割を占める約1万2千人が登録し、多くの子どもたちが地域の方々に見守られて、放課後を楽しんでいます。

平成19年度

対象 小1～3年生
実施 50小学校
登録 1,032人
登録率 10.7%

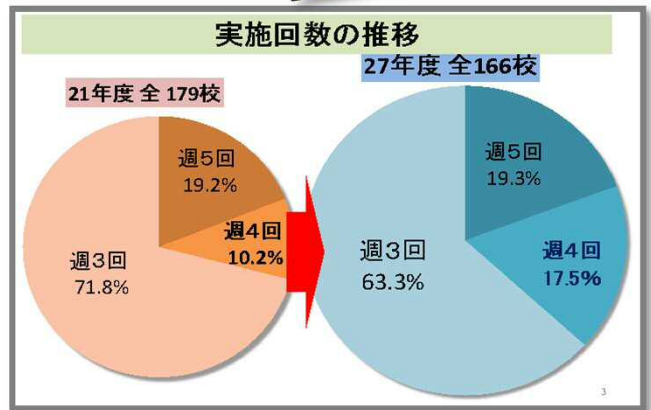
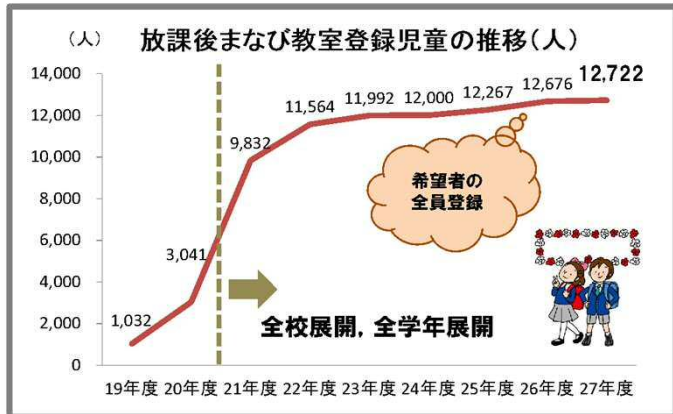


平成27年度

対象 小1～6年生
実施 166小学校
登録 12,722人
登録率 20.4%



保護者ニーズの高まりと登録児童の増加に伴い、新たな実施場所の確保及び夏休み中の実施など、実施回数の拡大に取り組んでいます。



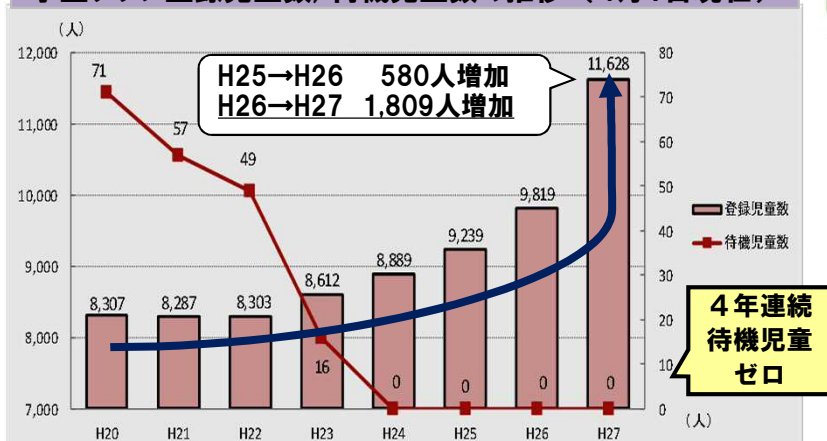
子育て支援としてのニーズが高まる「学童クラブ」と「放課後まなび教室」

放課後事業としては、他に昼間留守家庭児童に生活の場を提供する児童館等での「学童クラブ」があります。

平成27年度からその対象年齢が拡大されたことに伴い、放課後まなび教室と同様、登録者数も増加し、校区にある小学校の余裕教室等を活用して学童クラブが設置されるなど、子育て環境の整備が進んでいます。

また、昼間留守家庭の児童は「学童クラブ」、それ以外の児童は「放課後まなび教室」という二者択一ではなく、例えば、放課後まなび教室参加後に学童クラブに通ったり(両方の事業に登録)、学童クラブの季節行事等に放課後まなび教室の児童が参加するなど、それぞれの連携が進んでいます。

学童クラブ登録児童数、待機児童数の推移(4月1日現在)



余裕教室等を活用した学童クラブ
26年度 15ヵ所 → 27年度 20ヵ所

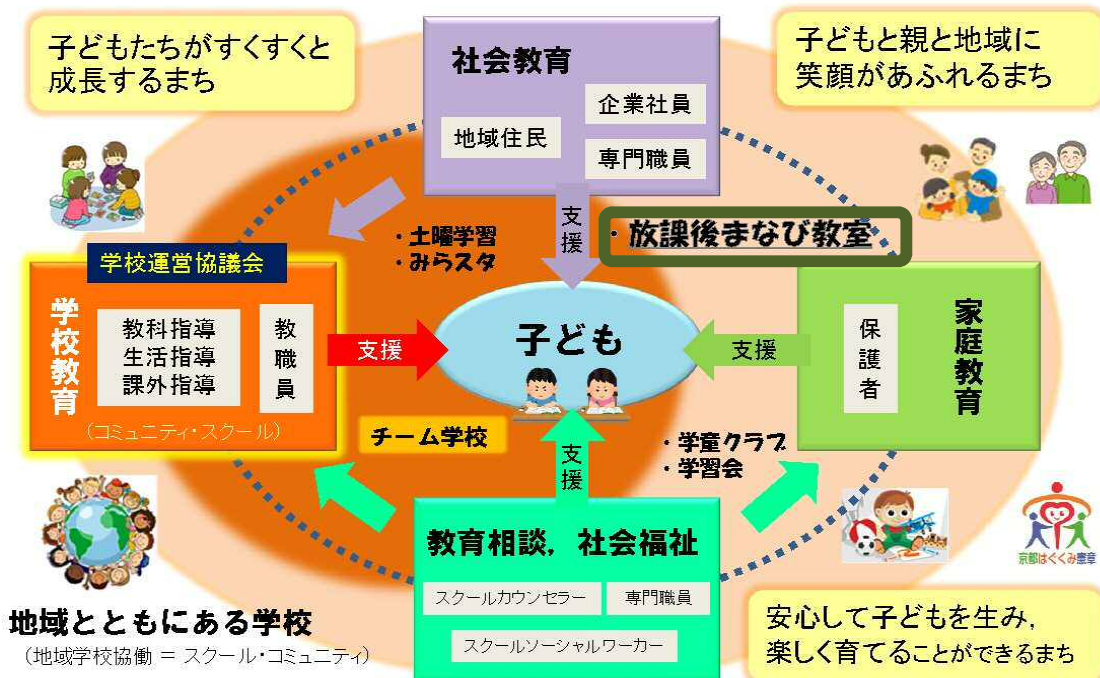
放課後まなび教室の登録者のうち、学童クラブに登録する者の割合(%)



「地域とともにある学校」と「放課後まなび教室」～子どもを真ん中にした支援の輪と目指すまち～

本市教育は、「学校運営協議会」等のしくみを活かし、多くのボランティアの方々の参画のもと、学校、家庭、地域が緊密に連携した取組を進めるとともに、児童・生徒の健全育成のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門職員と一体となった支援を推進しています。

「チーム学校」「地域学校協働本部」等の新しい学校の姿や学校を核とした地域創生のあり方が国レベルで議論される中、放課後まなび教室は、「子育て支援」の視点に加え、学校教育・社会教育・家庭教育をつなぎ、子どもを真ん中にした支援の輪(下図参照)を通じて地域コミュニティの活性化を図る「地域とともにある学校」づくりの一翼を担うことが期待されています。



＜図＞
地域とともにある学校
と子どもを真ん中に
した支援の輪

＜参考＞
日本教育新聞(平成28
年1月25日)特集「大学
間連携による教員養成
の高度化支援システム
の構築」(通称HATOプ
ロジェクト)の研究報告
に掲載された教育支援
モデルを参考にして作
成。

今すぐ使えて児童とともに楽しめる教材「京ことばに親しもう」が完成！

「ボランティアでも簡単に取り組み、児童が興味をもって学べる便利な教材はないだろうか」というニーズに応えるため、これまで企画・作成してきた教材が完成しました(3月に各教室に配布)。「放課後まなび教室(ことばの学習)」「放課後まなび教室(計算問題集)」と合わせ、是非ご活用ください。



○配布物

- ・「京ことばに親しもう」プリント
 - ・「京ことばカード」(白紙とケース付き)
- ※「京ことばカード」には京ことばの札と、共通語の札があり、京ことばと共通語は対になっています。
(例)「おこしやす」—「いらっしゃいませ」
「きばる」—「がんばる」
「ぶぶ」—「お茶」等

○学習の進め方

1. 「京ことばに親しもう」のプリントをする。
 2. 「京ことばカード」でゲームをする。
- ◆カルタとり
- ① 京ことばの札を広げる。
 - ② 共通語の札が読まれたら、対応する京ことばの札を取る。
(例:「いらっしゃいませ」と読まれたら「おこしやす」を取る。)
- ◆ことば合わせゲーム
- ① 京ことばの札と共通語の札を裏返して広げる。
 - ② 対応する京ことばの札と共通語の札がそろったら取る。



「カルタとり」や「ことば合わせゲーム」で遊ぶことで、自然と「京ことば」に親しめます。

(発行・本ニュースに関する問い合わせ先)
京都市教育委員会 生涯学習部 放課後まなび教室推進室
所在地: 中京区富小路六角下元生祥小学校内 TEL 254-5015

